2 次元バーコードリーダー V-1020

# 取扱説明書

Ver.B

**お問い合わせ先**

**株式会社エイポック**
〒230-0051 横浜市鶴見区鶴見中央 4-36-1 ナイス第 2 ビル 5F
TEL:045-508-5201　　FAX:045-508-5202
www.a-poc.co.jp

# 目次

取り扱い上の注意　必ずお読み下さい ･････････････････････････････････････3
第1章　はじめに ･････････････････････････････････････････････････8
第2章　セットアップ ･････････････････････････････････････････････9
第3章　使い方 ･･･････････････････････････････････････････････････10
第4章　メンテナンス ･････････････････････････････････････････････11
第5章　困ったときは ･････････････････････････････････････････････12
第6章　仕様 ･････････････････････････････････････････････････････13
第7章　出荷時の初期設定表 / シンボル ID 表 ･････････････････････････15
第8章　設定とバーコードメニュー ･････････････････････････････････21
・　設定方法　/　出荷時の初期設定 ･････････････････････････････21
・　USBインターフェースの設定 ･････････････････････････････････22
・　データ転送設定 ･････････････････････････････････････････････24
・　本体の動作設定 ･････････････････････････････････････････････26
・　イメージャーの設定 ･････････････････････････････････････････34
・　バーコードの読み取り設定　/　すべてのシンボルを読み取り禁止･･････ 37
・　バーコードの読み取り設定　1次元バーコード ･･････････････････38
・　バーコードの読み取り設定　2次元バーコード ･･････････････････56
・　バーコードの読み取り設定　郵便コード ･････････････････････････60
・　マルチコードの設定 ･････････････････････････････････････････63
第 9 章　カバーディスプレイ ･･････････････････････････････････････69
第 10 章　サンプルバーコード ･････････････････････････････････････71
第 11 章　保証と修理 ･････････････････････････････････････････････75

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

## 取り扱い上の注意　必ずお読み下さい

ここには、本製品を安全に正しくお使いいただき、お客様への危害や財産への損害を未然に防止するための注意事項を記載しております。

本製品を正しく使用するために、必ずお読みになり内容をご理解いただいた上でご使用ください。

本製品の取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障・不具合およびパソコンの故障・不具合やデータの消失・破損は弊社の保証対象には含まれず、その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

**警告表示の意味**

| | |
|---|---|
| **危険** | 絶対に行ってはいけない事項。この表示の注意を守らないと、使用者が死亡または重症を負う危険が差し迫って生じる恐れがあります。 |
| **警告** | 厳重に守って頂きたい事項。その指示に従わないと、生命の危険または重症を負う恐れがあります。 |
| **注意** | 安全上、特に注意していただきたい事項。その指示に従わないと障害を負う恐れ、または物的損害を引き起こす可能性があります。 |

**絵記号の意味**

| | |
|---|---|
| **警告** | この記号は禁止行為を示すための記号です。記号の中または近くに具体的な禁止事項が示されています。 |
| **注意** | この記号は必ず行っていただきたい指示内容を示すための記号です。記号の中または近くに具体的な禁止事項が示されています。 |

## 危険

**本製品を火の中、電子レンジ、オーブンや高圧容器に入れないで下さい。また、本製品を加熱したりしないで下さい。**

破裂、発火や火傷の原因となります。

**本製品から漏れ出た液が目に入ったときは、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受けて下さい。**

目に障害を与える恐れがあります。

**本製品の充電には、必ず本製品付属の接続ケーブルまたは本製品専用の充電アダプタを使用してください。**

**プラグ、ジャックの端子をショートさせないで下さい。**
発熱、破裂、発火や火傷の原因となります。特にコインやヘヤピンなどの金属製品と一緒に携帯・保管しないで下さい。

**直射日光の当たる場所、炎天下の車中、暖房器具の近くで使用または放置をしないで下さい。**
破裂、発火や火傷の原因となります。

**本製品の分解・改造・修理を自分でしないで下さい。**
発熱、破裂、発火、火傷や感電の原因となります。また、許可なく本製品のシールやカバーをはずした場合、修理をお断りする場合があります。

## 警告

**本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告・注意指示に従ってください。**

**液体や異物などが内部に入ったら、パソコンおよび周辺機器の電源スイッチをオフにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。**
そのまま使い続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社または販売店にお問合せ下さい。

**煙が出たり変な臭いや音がしたら、パソコンおよび周辺機器の電源スイッチをオフにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。**
そのまま使い続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社または販売店にお問合せ下さい。

**本製品を落としたり、強い衝撃を与えないで下さい。与えてしまったら、パソコンおよび周辺機器の電源スイッチをオフにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。**
そのまま使い続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社または販売店にお問合せ下さい。

**接続ケーブルは、必ず付属品（または指定品）をご使用下さい。**
付属品（または指定品）以外を使用すると、電圧や端子の極性が異なる場合があります。この場合、発煙や発火の恐れがあります。本製品の故障の原因にもなります。

**読み取り窓から出る赤い光を直接目でのぞき込まないで下さい。**
目がくらんだり、目に障害を与える恐れがあります。

**読み取り窓から出る赤い光を人の目に向けないで下さい。**
目がくらんだり、目に障害を与える恐れがあります。

**風呂場など、水分や湿気の多い場所では、本製品を使用しないで下さい。**
火災になったり、感電する恐れがあります。

**濡れた手で本製品に触れないで下さい。、**
パソコンおよび周辺機器の電源プラグがコンセントに接続されているときは、感電の原因になります。また、コンセントに接続されていなくとも故障の原因になります。

**小さなお子様が電気製品を使用する場合は、本製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導の下で行うようにして下さい。**

**プラグ、ジャックの周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布でふき取ってください。**
そのまま使い続けると、火災、感電の原因となります。

## 注意

**パソコンおよび周辺機器の取り扱いは、各説明書をよく読んで、各メーカーが決める手順に従ってください。**

**静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにして下さい。**
人体からの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失・破損される恐れがあります。

**本製品の取り付け、取り外しや、ソフトウェアをインストールするときなど、お使いのパソコン環境を少しでも変更するときは、変更前に必ずパソコン内（ハードディスクなど）のデータをすべて CD-ROM など外部の記憶装置にバックアップしてください。**
誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。バックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承下さい。

**次の場所には設置しないで下さい。感電、火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。**

- 強い磁界が発生するところ
- 静電気が発生するところ
- 温度、湿度が製品の説明書が定めた使用環境を超えるところ、または結露するところ
  →故障の原因となります
- 振動が発生するところ
  →けが、故障、破損の原因となります
- 平らでないところ
  →転倒したり、落下したりしてけがや故障の原因となります
- 直射日光が当たるところ
  火気の周辺、または熱気のこもるところ
  →故障や変形の原因となります
- 漏電または漏水のあるところ
  →故障や感電の原因となります

**シンナーやベンジン等の有機溶剤で本製品を拭かないで下さい。**製品の汚れは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、きれいな布に中性洗剤を含ませ、かたくしぼってから拭き取ってください。

**本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従って下さい。**
条例については、各地地方自治体にお問い合せ下さい。

## 法令準拠と注意

**この装置は FCC 規制パート 15 に適合しています。この装置は次の 2 つの条件に従って動作するものとします。**
**(1)本製品によって、有害な干渉が発生することはない。**
**(2)本製品は、予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉も含め、すべての干渉を受け入れなければならない。**

本製品は FCC 規制のパート 15 に従い、クラス A デジタル機器の制限に適合するようにテスト済みです。これらの制限は、商業環境で装置を使用したときに、干渉を防止する適切な保護を規定しています。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があり、この装置のマニュアルに記載された指示に従って設置および使用しなかった場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。その場合には、ユーザー側の負担で次のような干渉防止措置を講じる必要があります。

- 受信アンテナの位置や方向を変える
- 装置と受信機の距離をとる
- 装置と受信機を別の回路のコンセントに接続する
- 経験のあるテレビ･ラジオの技術者に相談する

## ご利用上の注意

- 本製品はすべての USB を用いた機器との接続動作を確認したものではありません。また、すべての USB を用いた機器との動作保証をするものではありません。ご使用にあたっては、USB を用いた機器の動作条件と接続の可否情報を各メーカーまたは取り扱い元にご確認ください。

## 読み取らないバーコードの注意

- Micro QR Code は読み取りません。
- 連結 QR Code(複数のデータに分割した QR を 1 つのデータに結合)は読み取りません。
- 日本語データの 2 次元バーコード(QR Code など)は読み取りません。
- GS1 の AI(アプリケーション識別子)による編集機能はありません。
- 記号 _ ~ ` は入力できません。

# 第 1 章　はじめに

## 本書について

　本書では、2 次元バーコードリーダーV-1020 のセットアップ、操作、設定方法について一般的な情報を説明します。

## 製品概要

　V-1020（以下、本製品）は 2 次元バーコードおよび 1 次元バーコードの読み取りおよび入力装置です。

　本製品とパソコンを USB ケーブルで接続し、読み取ったバーコードデータをパソコンに転送・入力することができます。

製品の主な特徴

- ボタンを押すだけの簡単な操作で、バーコードの読み取りが可能
- 1 次元バーコード、2 次元バーコード、郵便コードの読み取りに対応
- 瞬時にバーコード読み取る高性能イメージャー(光学エンジン)を搭載
- 小型・軽量で使いやすいデザイン
- 丈夫で長持ちする設計
- USB HID キーボードインターフェース対応。パソコンに接続してすぐに使用可能

## 付属品の確認

付属品がすべてそろっていることを確認してください。

☐V-1020(本体)
☐USB ケーブル
☐透明カバー
☐ハンドフリースタンド
☐かんたんガイド
☐User'sManual(英語の冊子。本書が和訳です)

☛ 本書の印刷物は付属しておりません。ホームページからのダウンロードでの提供となります。
☛ 万一、不足しているものがありましたら弊社または販売店にお問い合わせ下さい。

## 必要な機器

本製品の動作に必要な機器です。別途ご用意ください。

| コンピュータ | PC/AT 互換機 |
|---|---|
| システム | Windows 7, Windows XP |
| 入力端子 | USB1.1/2.0 以上 |

☛すべての環境での動作を保証するものではありませんのでご注意下さい。

# 第２章　セットアップ

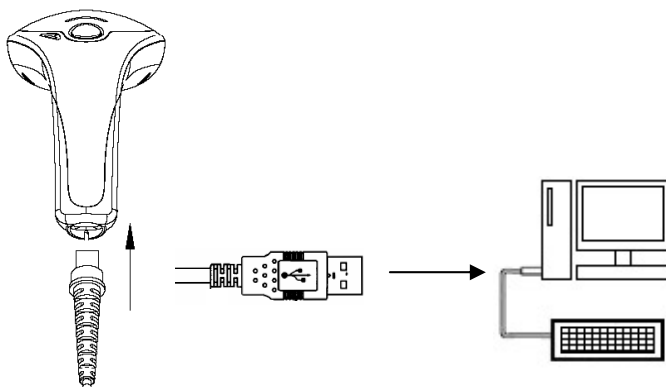
## 製品の取り出し

箱から製品を取り出したら、次のことを確認して下さい。

・ 製品に破損が無いことを確認する。破損が合った場合はすみやかに弊社までお知らせ下さい。
・ 不足しているものがないか確認する
・ 保管や返送時のために、箱は保管する

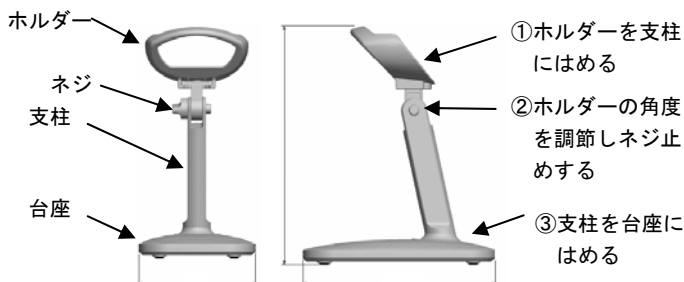
## セットアップ

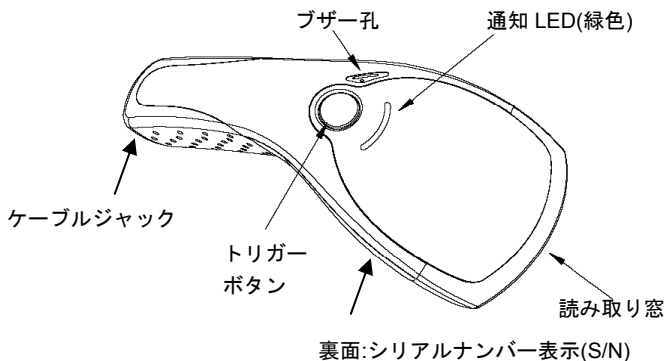
■V-1020 のセットアップ

1) ケーブルジャックに専用 USB ケーブルのモジュラーコネクタを接続して下さい。
2) パソコンの USB ポートに本製品の USB ケーブルを接続して下さい。
(注意)パソコン本体の USB に接続してください。USB ハブは動作しない場合があります。
3) パソコンが自動でドライバをインストールしセットアップが完了します。

■ハンドフリースタンドのセットアップ

スタンドはホルダー、支柱、台座に分かれています。下記の①～③の指示に従って、組み立ててください。

(注)商品は黒色です

# 第 3 章　使い方

## 各部の名称

■V-1020

## 使い方

1) 本製品とパソコンを USB ケーブルで接続して下さい。
2) パソコンのソフト(Excel など)を立ち上げ、バーコードデータを入力する場所にカーソルを合わせて下さい。
3) バーコードを 1 回読み取るごとにデータを転送します。第 9 章サンプルバーコード(p63)などを読み取ってお試し下さい。

## 手持ち時のバーコードの読み取り方

トリガーボタンを押し、読み取り窓から出るエイマー（水平の照準光）をバーコードの左右からはみ出るようにかざすと読み取ります。

## ハンドフリースタンド使用時のバーコードの読み取り方

1) バーコードメニュー「トリガーモード　プレゼンテーション」(p20)を読み取って下さい。
2) 本製品をハンドフリースタンドのホルダーに置いてください。
3) バーコードを読み取り窓の前にかざしてください。自動で読み取ります。

## ブザーと通知 LED の意味

| ブザーが 1 回鳴る | 読み取り成功　(2 回鳴らす設定もあります) |
|---|---|
| ブザーが 2 回鳴る | 設定バーコードメニューの読み取り |

| 通知 LED が 1 回点灯 | 読み取り成功 |
|---|---|

# 第４章　メンテナンス

本製品は特別なメンテナンスが不要ですが、定期的に清掃・点検を行うことで高い性能を保つことができます。

## 読み取り窓の清掃

**ご注意**

読み取り窓を清掃するときは、傷つけないようによく注意してください。読み取り窓が傷つくと読み取り性能が低下します。

読み取り窓が汚れていると、バーコードの読み取り性能が低下するなどの影響が生じます。ほこりや汚れがついている場合は柔らかい布やティッシュを水または薄めた中性洗剤で湿らせて、よく絞ってから読み取り窓を拭いてください。

**読み取り窓を拭くときは下記のことをお守り下さい。**

・ 研磨剤を使ったり、研磨する布類を使ったりしない→窓が傷つき読み取らなくなります。
・ 有機溶剤を使用しない→窓が溶けて読み取らなくなります。
・ 強くこすらない→窓が傷つき読み取らなくなります。
・ 水やその他の液体を直接窓に吹きかけない→本製品は防水ではありません。液体が侵入し故障の原因になります。

## ケーブルの点検

ケーブルが破損・故障していると、正常に動作しません。

**定期的に下記のことを確認して下さい。**

・ コネクタが破損・変形していないか確認する→コネクタが異常だと動作しなくなります。
・ ケーブルがねじれていたり、物が乗っていたり、挟まったりしていないか確認する。→ケーブルが断線し、動作しなくなります。

# 第５章　困ったときは

**Q:QR Code、NW7、ITF、GS1 Databar、GS1 Composite を読み取りできない**
A:読みたい種類のバーコードを許可(p32～)に設定して下さい
　QR Code→p58、NW7→p38、ITF→p50、GS1 Dabar→p48、GS1Composite→p49

**Q: 1～4 桁の NW7、2～6 桁の ITF を読み取りできない**
A:最短の読み取り桁数の設定を変更して下さい
　NW7→p38、ITF→p50

**Q:データ中の＋がに~なる、読み取りデータの記号が正しく入力しない**
A:キーボードレイアウトを 日本キーボード(p22)に設定して下さい

**Q:データの後に出力する Enter(改行)を Tab に変更したい**
A:ポストアンブルを Tab(p24)に設定して下さい

**Q:データの英大文字が小文字になる,大文字に変更したい**
A:Caps Lock 自動検出を許可(p22)に設定して下さい。

**Q:読み取りデータの一部の文字が抜ける、Enter が抜ける**
A:キャラクタ間の遅延時間を 10msec(p23)などに設定して下さい。

**Q:Enter(改行)の設定をしたが改行しない、データが横につながって出る**
A:パソコンのタスクバーなどに「あ 般」と表示していたら「あ」をクリックし「直接入力」を設定して下さい。直接入力が無い場合、Windows7 などは言語バーのプロパティ→編集操作→直接入力を使用しない→チェックを外す、で選択可能になります(設定はパソコンによって異なります)。

**Q:Excel に転送すると E+12 などと表示する、最初の 0 が消える**
A:Excel でデータを入力する列を選択→右クリック→セルの書式設定→表示形式→文字列→OK を設定してください

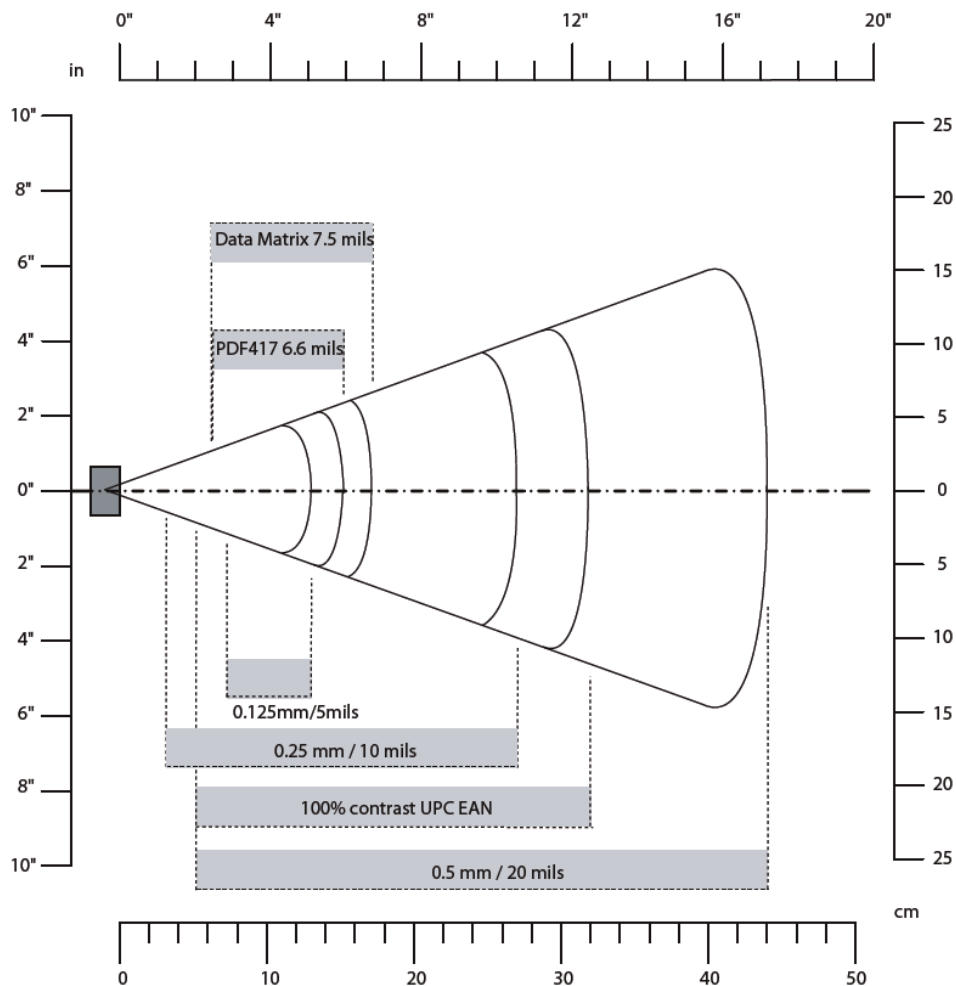
**Q:読み取り窓から出る赤色光がまぶしい**
A:照明 LED をパワーセーブモード(p35)に設定して下さい。明るさが抑えられます。(注)環境によっては読み取り率が低下する場合があります。

# 第 6 章　仕様

## 仕様表

| | |
|---|---|
| **読み取り 1 次元バーコード** | Codabar(NW7), Code 11,Code 39,Code 93 / 93i,Code 128,<br>GS1-128(※1),UPC-A,UPC-E,EAN-13,EAN-8,<br>GS1 Databar(※1),GS1 Composite(※1),<br>Interleaved 2 of 5(ITF),Matrix 2 of 5,<br>Standard 2 of 5(3 start / stop bars,2 start / stop bars),<br>MSI,Plessey,Telepen |
| **読み取り 2 次元バーコード** | Aztec,Codablock A,Codablock F,Data Matrix,MaxiCode,<br>PDF417,MicroPDF417,QR Code(※2),TLC39 |
| **読み取り郵便コード** | Australian Post,BPO,Canada Post,Dutch Post,Infomail,<br>Japanese Post,Planet,Postnet,Sweden Post |
| **スキャン<br>エンジン** | 受光:エリアイメージャー(752x480pix)<br>光源:可視赤色 LED 650±10nm<br>分解能: 0.125mm(Code39),0.191mm(DataMatrix)<br>スキャン速度:<br>　1 次元エミュレーションモード:200 スキャン/秒<br>　2 次元モード:56 イメージ/秒(出荷時)<br>読取距離:72-131mm(PCS0.9,0.125mm,Code39)<br>スキャン角度:水平 38°,垂直 25° |
| **電力** | 動作時:420mA@5VDC,待機時:60mA@5VDC |
| **インターフェース** | USB (HID キーボード)、 ケーブル長 1.5m |
| **ボタン** | 1 |
| **通知** | LED:緑(正読)、ブザートーン:3 または無し |
| **動作温度/湿度** | 0 ℃～+50 ℃/20%-90%RH(結露なきこと) |
| **外乱光** | 100,000lux |
| **衝撃** | 1m の高さからコンクリート面に自然落下後、正常動作 |
| **寸法** | 187 x 82 x 64 mm(D x W x H) |
| **重量** | 133g |
| **法令等** | FCC class A / CE / RoHS |
| **動作確認 OS** | Windows 7(32bit,64bit) /XP(SP2 以上) |

※1:GS1 バーコード各種の AI による編集機能はありません。
※2:Micro QR、連結 QR は対応しません。

# 読み取り範囲

オフィス環境の明るさ(250lux)で計測した読み取り距離

| シンボル | 分解能 | 最短距離 | 最長距離 |
|---|---|---|---|
| Code 39 | 0.125mm | 7.2cm | 13.1cm |
| | 0.25mm | 3.4cm | 27cm |
| UPC / EAN / JAN | 0.33mm | 5cm | 32cm |
| Data Matrix | 0.191mm | 6.3cm | 17.2cm |
| | 0.254mm | 4.8cm | 22cm |
| PDF417 | 0.16mm | 6.2cm | 15.4cm |

注意：上記の距離はシンボルの大きさ、印刷品質、周囲の環境によって変わりますので保証されるものではありません。

# 第 7 章　出荷時の初期設定表 / シンボル ID 表

## 出荷時の初期設定表

| USBインターフェースの設定 | 初期値 | 参照ページ |
|---|---|---|
| キーボードレイアウト | USキーボード | 22 |
| Upper/Lower Case | 変換無し | 22 |
| Alt＋テンキー | 禁止 | 22 |
| テンキー入力 | 禁止 | 22 |
| キャラクタ間の遅延時間 | 0msec | 23 |

| データ転送設定 | 初期値 | 参照ページ |
|---|---|---|
| プリアンブル | なし | 24 |
| ポストアンブル | Enter　(CR LF) | 24 |
| シンボルID | なし | 25 |

<table>
<tr><th colspan="2">本体の動作設定</th><th>初期値</th><th>参照ページ</th></tr>
<tr><td colspan="2">トリガーモード</td><td>レベル</td><td>26</td></tr>
<tr><td colspan="2">トリガータイムアウト</td><td>2秒</td><td>27</td></tr>
<tr><td colspan="2">読み取り後の消灯</td><td>許可</td><td>27</td></tr>
<tr><td colspan="2">エイマーモード</td><td>禁止</td><td>28</td></tr>
<tr><td colspan="2">エイマーモードの時間</td><td>500msec</td><td>28</td></tr>
<tr><td colspan="2">定義済みのセキュリティレベル</td><td>標準</td><td>29</td></tr>
<tr><td rowspan="2">任意のセキュリティレベル</td><td>デコード時の一致回数</td><td>自動でカウント</td><td>30</td></tr>
<tr><td>同一バーコードを読み取るまでの時間</td><td>300msec</td><td>30</td></tr>
<tr><td colspan="2">センターデコーディングの使用</td><td>禁止</td><td>31</td></tr>
<tr><td colspan="2">センターデコーディングの範囲</td><td>0%</td><td>31</td></tr>
<tr><td colspan="2">ブザー音調</td><td>高</td><td>32</td></tr>
<tr><td colspan="2">起動時のブザー鳴動</td><td>禁止</td><td>32</td></tr>
<tr><td colspan="2">読み取りブザーの回数</td><td>1回</td><td>32</td></tr>
<tr><td colspan="2">読み取りブザーの長さ</td><td>80msec</td><td>33</td></tr>
<tr><td colspan="2">読み取りLEDの点灯時間</td><td>80msec</td><td>33</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="2">イメージャーの設定</th><th>初期値</th><th>参照ページ</th></tr>
<tr><td colspan="2">定義済みのイメージャー設定</td><td>1Dコードと2Dコードを読み取る</td><td>34</td></tr>
<tr><td rowspan="4">任意のイメージャー設定</td><td>エイマーの点滅</td><td>点滅する</td><td>35</td></tr>
<tr><td>デコードモード</td><td>2Dイメージャー</td><td>35</td></tr>
<tr><td>照明LED</td><td>常時オン</td><td>35</td></tr>
<tr><td>照明レベル</td><td>100%</td><td>36</td></tr>
</table>

# 出荷時の初期設定表(続き)

| バーコードの読み取り設定/1次元バーコード | | 初期値 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| Codabar (NW7) | 読み取り | 禁止 | 38 |
| | スタート/ストップキャラクタの転送 | 禁止 | 38 |
| | チェックデジットの使用 | 禁止 | 38 |
| | チェックデジットの転送 | 禁止 | 38 |
| | 最短の読み取り桁数 | 4桁以上 | 38 |
| Code 11 | 読み取り | 禁止 | 39 |
| | チェックデジットの桁数 | 1桁 | 39 |
| | チェックデジットの転送 | 許可 | 39 |
| Code 39 | 読み取り | 許可 | 40 |
| | スタート/ストップキャラクタの転送 | 禁止 | 40 |
| | チェックデジットの使用 | 禁止 | 40 |
| | チェックデジットの転送 | 禁止 | 40 |
| | Full ASCII Code39のフォーマット | 禁止 | 40 |
| Code 93 / 93i | 読み取り | 禁止 | 41 |
| Code 128 | 読み取り | 許可 | 42 |
| GS1 128 | 読み取り | 許可 | 42 |
| UPC-A | 読み取り | 許可 | 43 |
| | チェックデジットの転送 | 許可 | 43 |
| | ナンバーシステムの転送 | 許可 | 43 |
| | UPC-AをEAN-13に変換 | 許可 | 43 |
| UPC-E | 読み取り | 許可 | 44 |
| | チェックデジットの転送 | 許可 | 44 |
| | ナンバーシステムの転送 | 許可 | 44 |
| | UPC-EをUPC-Aに変換 | 禁止 | 44 |
| | UPC-E1の読み取り | 禁止 | 44 |
| EAN-13 / JAN-13 | 読み取り | 許可 | 45 |
| | チェックデジットの転送 | 許可 | 45 |
| | ISBNに変換 | 禁止 | 45 |
| EAN-8 / JAN-8 | 読み取り | 許可 | 46 |
| | チェックデジットの転送 | 許可 | 46 |
| | EAN-13に変換 | 禁止 | 46 |

# 出荷時の初期設定表(続き)

| バーコードの読み取り設定/1次元バーコード | | 初期値 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| UPC/EAN/JANのオプション | アドオンの要求 | アドオンの要求なし | 47 |
| | アドオンの桁数 2桁 | 禁止 | 47 |
| | アドオンの桁数 5桁 | 禁止 | 47 |
| | GTINフォーマットに変換する | 禁止 | 47 |
| GS1 Databar (RSS) | Omni-directional読み取り | 禁止 | 48 |
| | Limited読み取り | 禁止 | 48 |
| | Expanded読み取り | 禁止 | 48 |
| GS1 Composite | CC-A/B読み取り | 禁止 | 49 |
| | CC-C読み取り | 禁止 | 49 |
| | Compositeのリンク | 自動判別する | 49 |
| | Linearのみ転送 | 禁止 | 49 |
| | AIM IDの除去 | 禁止 | 49 |
| Interleaved 2 of 5 (ITF) | 読み取り | 禁止 | 50 |
| | チェックデジットの使用 | 禁止 | 50 |
| | チェックデジットの転送 | 禁止 | 50 |
| | 最短の読み取り桁数 | 6桁以上 | 50 |
| Matrix 2 of 5 | 読み取り | 禁止 | 51 |
| | スタート/ストップキャラクタの形式 | レギュラー | 51 |
| Standard 2 of 5 | 読み取り | 禁止 | 52 |
| | フォーマット | Identicon | 52 |
| | チェックデジットの使用 | 禁止 | 52 |
| | チェックデジットの転送 | 禁止 | 52 |
| MSI | 読み取り | 禁止 | 53 |
| | チェックデジットのタイプ | モジュラス10 | 53 |
| | チェックデジットの転送 | 許可 | 53 |
| Plessey | 読み取り | 禁止 | 54 |
| | チェックデジットの転送 | 許可 | 54 |
| Telepen | 読み取り | 禁止 | 55 |
| | フォーマット | アスキー | 55 |

# 出荷時の初期設定表(続き)

| バーコードの読み取り設定/2次元バーコード | | 初期値 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| Aztec | 読み取り | 禁止 | 56 |
| Codablock A | 読み取り | 禁止 | 56 |
| Codablock F | 読み取り | 禁止 | 56 |
| Data Matrix | 読み取り | 許可 | 57 |
| Maxi Code | 読み取り | 禁止 | 57 |
| PDF417 | PDF417 読み取り | 許可 | 57 |
| | Micro PDF417 読み取り | 禁止 | 57 |
| QR code | 読み取り | 禁止 | 58 |
| | モデル1 読み取り | 禁止 | 58 |
| | 白黒反転QR | 通常色のQRのみ読み取る | 58 |
| TLC 39 | 読み取り | 禁止 | 59 |
| | Linearのみ転送 | 禁止 | 59 |
| | チェックデジットの転送 | 禁止 | 59 |
| | 最短の読み取り桁数 | 6桁以上 | 59 |

| バーコードの読み取り設定/郵便コード | | 初期値 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| Japan Post | 読み取り | 禁止 | 60 |
| | チェックデジット転送 | 許可 | 60 |
| Australian Post | 読み取り | 禁止 | 61 |
| BPO | 読み取り | 禁止 | 61 |
| | チェックデジット転送 | 許可 | 61 |
| Canada Post | 読み取り | 禁止 | 61 |
| Dutch Post | 読み取り | 禁止 | 61 |
| Infomail | 読み取り | 禁止 | 62 |
| Planet | 読み取り | 禁止 | 62 |
| | チェックデジット転送 | 許可 | 62 |
| Postnet | 読み取り | 禁止 | 62 |
| | チェックデジット転送 | 許可 | 62 |
| Sweden Post | 読み取り | 禁止 | 62 |

| マルチコードの設定 | 初期値 | 参照ページ |
|---|---|---|
| マルチコードの読み取り | 禁止 | 63 |
| マルチコードの数 | 2 | 64 |
| マルチコードのセパレータ | <> | 65 |
| 不完全なデータ転送 | 禁止 | 66 |
| 不完全なデータ転送のタイムアウト | 0msec | 66 |

# シンボル ID 表

シンボル ID(p25)の対応表です。

## 1次元バーコード

| バーコードシンボル | AIM ID | AIM ID修飾文字(x) | USDI | Code Mark |
|---|---|---|---|---|
| Codabar (NW-7) | ]Fx | 0,1,2,4 | B7 | D |
| Code 11 | ]Hx | 0,1,3 | C1 | * |
| Code 39 | ]Ax | 0,1,3,4,5,7 | B1 | * |
| Code 93 / 93i | ]Gx | 0,1-9, A-Z, a-m | B6 | D |
| Code 128 | ]Cx | 0,1,2,4 | B3 | D |
| GS1-128 | ]C1 | | C9 | D |
| UPC-A | ]E0 | | A0 | A |
| UPC-E | ]X0 | | E0 | E |
| EAN-13 | ]E0 | | F | F |
| EAN-8 | ]E4 | | FF | FF |
| GS1 Databar Omni | ]e0 | | C3 | * |
| GS1 Databar Limited | ]e0 | | C4 | * |
| GS1 Databar Expanded | ]e0 | | C5 | * |
| GS1 Composite CC-A/B | ]ex | 0,1,2,3 | G0 | * |
| GS1 Composite CC-C | ]ex | 0,1,2,3 | G1 | * |
| Interleaved 2 of 5 | ]Ix | 0,1,3 | B2 | I |
| Matrix 2 of 5 | ]X0 | | B4 | D |
| Standard 2 of 5 (3 start / stop bars) | ]S0 | | B5 | D |
| Standard 2 of 5 (2 start / stop bars) | ]Rx | 0,1,3 | B5 | D |
| MSI | ]Mx | 0,1 | B8 | D |
| Plessey | ]P0 | | C2 | * |
| Telepen | ]Bx | 0,1 | C6 | * |

# シンボル ID 表(続き)

シンボル ID(p25)の対応表です。

## 2次元バーコード

| バーコードシンボル | AIM ID | AIM ID修飾文字(x) | USDI | Code Mark |
|---|---|---|---|---|
| Aztec | ]z0 | | D3 | * |
| Codablock A | ]Ox | 6 | K0 | * |
| Codablock F | ]Ox | 4,5 | K1 | * |
| Data Matrix | ]d1 | | D0 | * |
| MaxiCode | ]Ux | 0,1 | D2 | * |
| PDF417 | ]Lx | 0 | C7 | * |
| MicroPDF417 | ]Lx | 3,4,5 | C8 | * |
| QR Code | ]Qx | 0,1 | D1 | * |
| TLC39 | ]A0 | | H0 | * |

## 郵便コード

| バーコードシンボル | AIM ID | AIM ID修飾文字(x) | USDI | Code Mark |
|---|---|---|---|---|
| Australian Post | ]X0 | | P3 | * |
| BPO | ]X0 | | P2 | * |
| Canada Post | ]X0 | | P6 | * |
| Dutch Post | ]X0 | | P4 | * |
| Infomail | ]X0 | | P8 | * |
| Japanese Post | ]X0 | | P5 | * |
| Planet | ]X0 | | P1 | * |
| Postnet | ]X0 | | P0 | * |
| Sweden Post | ]X0 | | P7 | * |

# 第 8 章　設定とバーコードメニュー

## 設定方法

### 1.本書のバーコードメニューを読み取る

本製品は本書のバーコードメニューを読み取ると、動作の設定を変更することが出来ます。また、バーコードメニューに表示した＊印は、出荷時の設定です。

### 2.設定ソフトで作成したバーコードメニューを読み取る

パソコン用の設定ソフトを使うと、さらに詳しい設定ができます。設定ソフトは弊社ホームページの「ユーザー専用ページ」からダウンロードして下さい。設定ソフトを使うと、お客様ご自身で次のような詳しい設定のバーコードメニューを作成することができます。

- プリアンブル、ポストアンブル、シンボル ID に任意のキャラクタを設定
- 読み取りデータの編集（抽出、置換など）
- マルチコード読み取りの条件を設定（一括読み取り時の順番を設定）

**ユーザー専用ページ**(設定ソフトのダウンロード) → http://www.a-poc.co.jp/dl2/index.html

**ID とパスワード** → お買い上げの商品に同梱の**「かんたんガイド」**に記載しています。

## 出荷時の初期設定

「全設定の初期設定」を読み取ると、本書 p22 以降のすべての設定を出荷時の初期設定に戻します。

全設定の初期設定

メモ　データ編集などを設定した後に、全設定の初期設定を読み取らなくなった場合は下記の「USB インターフェース以外の初期設定」で初期設定を行ってください。

「USB インターフェース以外の初期設定」を読み取ると、本書 p24 以降の設定を出荷時の初期設定に戻します。(注)本書 p22～23 は初期設定に戻しません。

USB インターフェース以外の初期設定

## キーボードレイアウト

US キーボード (*)

日本キーボード

+()などの記号を正しく入力します

(注) _ ~ `は非対応です

## Caps Lock 自動検出

許可

パソコンの Caps Lock がオン/オフを自動で

検出してデータの大文字と小文字を入力します

禁止 (*)

パソコンの Caps Lock オン/オフによって

データの大文字/小文字が切り替わります

## Upper /Lower Case

変換無し (*)

Upper Case

すべて大文字に変換する(例 abCD→ABCD)

Lower Case

すべて小文字に変換する(例 abCD→abcd)

## Alt+テンキー

許可

禁止 (*)

(注)許可にすると Alt とテンキー押下でキャラクタを入力します。Enter が Alt+テンキーの 1 とテンキーの 3(Alt+Num1+Num3)になるため、一部のシステム(Excel など)は改行しなくなります

## テンキー入力

許可

数字データをテンキーから入力したデータとして扱う

禁止 (*)

## キャラクタ間の遅延時間

読み取りデータの文字が抜けるとき大きな値を設定して下さい。値が大きくなるとデータの入力速度が遅くなります。

0msec (*)

5msec

10msec

25msec

50msec

100nsec

データ転送設定

## プリアンブル/ポストアンブル

データ転送のフォーマットは次の通りです。

←データの先頭　　　　データの後尾→

| プリアンブル | シンボル ID | 読み取りデータ | ポストアンブル |
|---|---|---|---|

**プリアンブルの転送** – プリアンブルは読み取りデータの前に転送するキー、キャラクタです

なし (*)

**メモ**

プリアンブルを設定する場合は、設定ソフトをご使用下さい。

**ポストアンブルの転送** – ポストアンブルは読み取りデータの前に転送するキー、キャラクタです

Enter (*)

CR(0Dh)　LF(0Ah)を転送します

CR

CR(0Dh)のみを転送します

Tab

HT(09h) を転送します

なし

ポストアンブルを転送しません

**メモ**

ポストアンブルにその他を設定する場合は、設定ソフトをご使用下さい。

データ転送設定

## シンボル ID

シンボル ID(AIM ID、USDI、Code Mark)の転送を許可すると、バーコードの種類を識別するための文字をデータの先頭に付加します。定義済みのシンボル ID の文字は第 7 章のシンボル ID 表(p19～20)を参照して下さい。

禁止 (*)

AIM ID の転送を許可

UDSI の転送を許可

Code Mark の転送を許可

**AIM ID とは**

AIM(国際自動認識工業会)が策定した 3 桁のシンボル ID。1 桁目は]、2 桁目は英字、3 桁目は数字または英字 1 文字。

3 桁目は修飾文字で通常は 0 ですが､シンボルの変化形のときは 0 以外の文字になります。

**UDSI とは**

ユーザー定義のシンボル ID（User defined symbology identifier）。出荷時は 2 桁の文字が設定済み。

**Code Mark とは**

もう 1 つのユーザー定義のシンボル ID。1 桁。一部のシンボルのみ定義済み。例外として EAN-8 のみデフォルト値が 2 桁（FF）。

メモ

・USDI、Code Mark ポストアンブルに任意の文字を設定する場合は、設定ソフトをご使用下さい。

・GS1-128 の AIM ID については p42 を参照してください。

本体の動作設定

## トリガーモード

トリガーを押して読む、自動で読み取るなど読み取り方法の設定です。

コンティニュアス

常時点灯

レベル　(*)

トリガー読み

パルス

トリガーを押し、2 秒後照明オフ

フラッシュ

点滅　かざすと読み取り

オートスタンド

自動読み　待機時、照明が点滅

トグル

トリガーでオンオフ、読むと消灯

プレゼンテーション

自動読み　待機時 照明オフ

## トリガータイムアウト

トリガーモードがパルス、フラッシュ、オートスタンドのときに有効です。

トリガーで照明が点灯した後に、照明が点灯している時間の長さです。

2 秒 (*)

5 秒

## 読み取り後の消灯

トリガーモードがレベル、パルス、オートスタンドのときに有効です。

読み取ったあとに照明が消灯するかしないかの設定です。

禁止

許可(*)

本体の動作設定

## エイマーモード(照準モード)

エイマーモードはトリガーモードがレベル、パルス、オートスタンドのときに有効です。許可にするとエイマー（照準の水平な赤色光）の点灯と読み込みのタイミングが別々になります。狭い範囲にシンボルが並んでいるときに目的のシンボルを個別に読み取りができます。

禁止 (*)

許可,1 回のトリガーでエイマー点灯と読み取り

トリガーを押し続けると遅れて読み取ります。

許可 , 1 回目のトリガーでエイマー点灯,

2 回目のトリガーで読み取り

## エイマーモードの時間

エイマーモード許可,1 回のトリガーでエイマー点灯と読み取りのときの読み取るまでの時間設定。

500msec (*)

1200msec

本体の動作設定

## 定義済みのセキュリティレベル設定(誤読防止の設定)

中～高を設定すると、低品質なバーコードの読み取り誤りや、同じバーコードを間違ってよみとることを防止します。読み取り速度は遅くなります。

標準 (*)

デコード結果は自動でカウントしデータを転送する

同一バーコードを読み取るまでの時間は 300msec

異なるバーコードを読み取るまでの時間制御なし

中

連続して 2 つの同じデコード結果を得られたらデータを転送する

同一バーコードを読み取るまでの時間は 300msec

異なるバーコードを読み取るまでの時間は 10msec

高

連続して 4 つの同じデコード結果を得られたらデータを転送する

同一バーコードを読み取るまでの時間は 350msec

異なるバーコードを読み取るまでの時間は 30msec

本体の動作設定

## 任意のセキュリティレベル設定(誤読防止の設定)

### デコード時の一致回数

設定した回数の連続した同じデコード結果を得られたらデータを送信します。
回数が多いと誤読は減りますが、読み取り速度は低下します。

自動でカウント (*)

2 回

3 回

4 回

### 同一バーコードを読み取るまでの時間

時間を短く設定すると同じコードを再度読みやすくなりますが、もう一度同じコードを読み取ってしまいやすくなることに注意して下さい。

50msec

100msec

200msec

300msec (*)

600msec

## センターデコーディングの使用

許可に設定するとスキャナの視界を狭くします。出荷時は禁止です。許可に設定すると「センターデコーディングの範囲」で設定した範囲を読み取ります。

禁止(*)

許可

## センターデコーディングの範囲

「センターデコーディングの使用」が許可に設定されたときに適用されます。

0% (*)

スキャナの視界の中心にシンボルがあるときにのみ読み取る

50%

スキャナの視界を半分にする

## ブザー音調

高 (2090 Hz) (*)

低(1318 Hz)

中 (1760 Hz)

注:ブザーを禁止するには「読み取りブザーの回数」を「なし」に設定して下さい。

## 起動時のブザー鳴動

禁止 (*)

許可

## 読み取りブザーの回数

1 回 (*)

2 回

なし

## 読み取りブザーの長さ

60msec

80msec (*)

200msec

300msec

## 読み取り LED ランプの点灯時間

80msec (*)

500msec

イメージャーの設定

# 定義済みのイメージャー設定

イメージャーとは読み取りセンサーユニットのことです。1D コードとは 1 次元バーコード、2D コードとは 2 次元バーコードの意味です。

1D コードのみ読み取る

1 次元エミュレーションモード

1D コードと 2D コードを読み取る (*)

標準設定

1D コードと 2D コードを読み取る(周囲が明るい)

直射日光が照射するような環境

1D コードと 2D コード(光沢のある表面)

ラミネートシールなどのラベル

イメージャーの設定

# 任意のイメージャー設定

## エイマーの点滅

エイマーとは水平な赤色の照準光です。

点滅する (自動で最適化) (*)

点滅しない、常時オン

## デコードモード

2D イメージャー (*)

1D と 2D を読み取る

リニアイメージャーエミュレーション

1D のみ読み取る

1 次元スキャナのようになります。

## 照明 LED

照明 LED とはスキャナの視界全体を照射する赤色光です。

常時オン (*)

照明 LED がフルパワーの明るさで点灯します。

パワーセーブモード

照明 LED の明るさを自動調整します。

# 任意のイメージャー設定

## 照明レベル

数値を下げると照明 LED の明るさが抑えられますが、環境やバーコードシンボルの状態によっては読み取り率が低下します。明るさを抑えたい場合は、まず照明 LED パワーセーブモード(p29)を設定してみて下さい。必要があれば照明レベルを設定して下さい。

100%（*）

75%

50%

25%

20%

10%

## すべてのシンボルを読み取り禁止

例えば、Code 39 と QR code のみを読み取り、ほかの種類はすべて読み取らないようにするには、「すべてのバーコードを読み取り禁止」を設定した後、Code 39、QR code の読み取りを「許可」に設定して下さい。

**ご注意**

「すべてのシンボルを読み取り禁止」を設定した場合、次の事に注意して下さい。

- 通常のバーコードをすべて読み取らなくなります。
- 「インターフェース以外の初期設定(p21)」と p24 以降のバーコードメニューは読み取ります。
- 「全設定の初期設定(p21)」と「USB インターフェースの設定(p22～23)」のバーコードメニューは読み取らなくなります。
  その場合、「Code39　読み取り　許可(p40)」を設定すると、読み取りでるように戻ります。

## Codabar (NW7)

### 読み取り

禁止 (*)

許可

### スタート/ストップキャラクタの転送

禁止 (*)

許可　A, B, C, D を転送する

許可　a, b, c, d　を転送する

### チェックデジットの使用 – 計算方式はモジュラス 16 です。

禁止 (*)

許可

### チェックデジットの転送

禁止 (*)

許可

### 最短の読み取り桁数

1 桁以上

4 桁以上(*)

(注:スタート/ストップを含めて 6 桁以上)

# Code 11

## 読み取り

禁止 (*)

許可

## チェックデジットの桁数

1 桁 (*)

2 桁

## チェックデジットの転送

禁止

許可 (*)

## Code 39

### 読み取り

禁止

許可 (*)

(注)禁止を設定すると、全設定の初期設定(p21)と USB インターフェースの設定(p22～23)のメニューを読み取らなくなります。これらを設定する場合は一度 Code39 の読み取りを許可に設定して下さい。

### スタート/ストップキャラクタの転送

禁止 (*)

許可

データの前後に＊を転送します

### チェックデジットの使用 – 計算方式はモジュラス 43 です。

禁止 (*)

許可

### チェックデジットの転送

禁止 (*)

許可

### Full ASCII Code39 のフォーマット

禁止 (*)

許可

## Code 93 / Code 93i (Extend)

### 読み取り

禁止 (*)

許可

## Code 128 / GS1-128

Code 128 読み取り

禁止

許可 (*)

GS1-128 読み取り

禁止

許可 (*)

GS1-128　データ先頭に AIM ID ]C1 を転送

(注)この設定は編集機能を利用した設定です。

禁止(*)

Data Editing Scenario 1、未定義

許可

Data Editing Scenario 1、先頭に]C1 設定

**メモ**

GS1 128 の AIM ID 許可は設定ソフトの Data Transmission Settings-Data Editing を利用し、

Scenario 1 に]C1 を挿入する設定になっています。

設定ソフトで Scenario 1 を使用すると本設定が上書きされます。

## UPC-A

### 読み取り

禁止

許可 (*)

### チェックデジットの転送

禁止

許可 (*)

### ナンバーシステムの転送

禁止

許可 (*)

禁止は 12 桁のうち 1 桁目の 0 を転送しません。

### UPC-A を EAN-13 に変換

禁止

許可 (*)

先頭に 0 を追加し 13 桁で転送します。

## UPC-E

### 読み取り

禁止

許可 (*)

### チェックデジットの転送

禁止

許可 (*)

### ナンバーシステムの転送

禁止

許可 (*)

禁止は 8 桁のうち 1 桁目の 0 を転送しません。

### UPC-E を UPC-A に変換

禁止 (*)

許可

### UPC-E1 の読み取り

禁止 (*)

許可

UPC-E1 は 1 桁目が 1 の UPC-E です。通常の UPC-E は 1 桁目が 0 です。

# EAN-13 / JAN-13

## 読み取り

禁止

許可 (*)

## チェックデジットの転送

禁止

許可 (*)

## ISBN に変換

禁止 (*)

許可

## EAN-8 / JAN-8

### 読み取り

禁止

許可 (*)

### チェックデジットの転送

禁止

許可 (*)

### EAN-8 を EAN-13 に変換

禁止 (*)

許可

## UPC / EAN / JAN のオプション

### UPC / EAN / JAN アドオンの要求

アドオン の要求なし (*)

下記のアドオン2桁/5桁を許可にすると、要求なしでも

アドオンがあればアドオンを転送します。

アドオンの要求あり

### アドオンの桁数

アドオン2桁 - 禁止 (*)

アドオン2桁 - 許可

アドオン5桁 - 禁止 (*)

アドオン5桁 - 許可

新雑誌コードを読む場合に設定します。

### UPC / EAN / JAN を GTIN フォーマットに変換する

禁止 (*)

許可

先頭に0を追加し14桁に変換します。

## GS1 Databar (RSS)

### GS1 DataBar Omni-directional 読み取り

禁止 (*)

許可

### GS1 DataBar Limited 読み取り

禁止 (*)

許可

### GS1 DataBar Expanded 読み取り

禁止 (*)

許可

### メモ GS1 Databar と Composite の一括メニュー

GS1 Databar すべて許可,
GS1 Composite CC-A/B 許可,
AIM ID 除去を禁止(先頭に]e0 を転送する)

GS1 Databar すべて許可,
GS1 Composite CC-A/B 許可,
AIM ID 除去を許可(先頭に]e0 を転送しない)

上記の設定は 3 種類の GS1 Databar すべて(Omini-directional、Limited、Expanded)と GS1 Composite CC-A/B(p49)を一括で読み取り許可に設定します。データの先頭に ]e0 を転送するなら左側のメニューを、転送しないなら右側のメニューを設定して下さい。

## GS1 Composite(コンポジット)

### GS1 Composite CC-A/B 読み取り

禁止 (*)

許可

許可にすると単独の MicroPDF は読み取りません

### GS1 Composite CC-C 読み取り

禁止 (*)

許可

### Composite(コンポジット/2 次元コード)のリンク – UPC/EAN のみ有効

自動判別する (*)

常にリンク-UPC/EAN は Composite が必要

リンクしない-Compsite がなくても UPC/EAN 読む

### Linear(リニア/1 次元コード)のみ転送

禁止 (*)

許可

### AIM ID の除去

禁止 (*)

先頭に]e0 を転送します

許可

先頭に]e0 を転送しません

## Interleaved 2 of 5 (ITF)

### 読み取り

禁止 (*)

許可

### チェックデジットの使用 – 計算方式はモジュラス 10/ウェイト 3 です。

禁止 (*)

許可

### チェックデジットの転送

禁止 (*)

許可

### 最短の読み取り桁数

2 桁以上

6 桁以上(*)

# Matrix 2 of 5

## 読み取り

禁止 (*)

許可

## スタート/ストップキャラクタの形式

レギュラー (*)

China Post

# Standard 2 of 5(Industrial 2 of 5 / Code 2 of 5)

## 読み取り

禁止 (*)

許可

## フォーマット

Identicon (3 スタート/ストップ バー) (*)

Computer Identics (2 スタート/ストップ バー)

## チェックデジットの使用

禁止 (*)

許可 (モジュラス 10)

## チェックデジットの転送

禁止 (*)

許可

# MSI

## 読み取り

禁止 (*)

許可

## チェックデジットのタイプ

モジュラス 10 (*)

ダブルモジュラス 10(モジュラス 10/10)

## チェックデジットの転送

禁止

許可 (*)

# Plessey

## 読み取り

禁止 (*)

許可

## チェックデジットの転送

禁止

許可 (*)

# Telepen

## 読み取り

禁止 (*)

許可

## フォーマット

アスキー/Ascii (*)

数字

## Aztec

読み取り

禁止 (*)

許可

## Codablock A

読み取り

禁止 (*)

許可

## Codablock F

読み取り

禁止 (*)

許可

## Data Matrix

読み取り

禁止

許可(*)

(注) Data Matrix について

白黒反転の Data matrix も読み取ります。

## Maxi Code

読み取り

禁止 (*)

許可

## PDF417 / Micro PDF417

PDF417 読み取り

禁止

許可 (*)

Micro PDF417 読み取り

禁止 (*)

許可

# QR Code

## 読み取り

禁止 (*)

許可

許可にすると QR code モデル 2

を読み取ります。

## モデル 1 読み取り

禁止 (*)

許可

モデル 1 は旧式の QR です。

## 白黒反転 QR

通常色の QR のみ読み取る (*)

白黒反転の QR のみ読み取る

自動判別 - 通常色と白黒反転を読み取る

自動判別は読み取り速度が低下する場合があります

**ご注意 QR Code について**

- Micro QR Code は読み取りません。
- 連結 QR Code(複数のデータに分割した QR を 1 つのデータに結合)の読み取りません。
- 日本語データの 2 次元バーコード(QR Code など)を読み取りません。

## TLC39 (TCIF Linked Code 39)

### 読み取り

禁止 (*)

許可

### Linear(1 次元バーコード)のみ転送

禁止 (*)

許可

## Japan Post (日本の郵便カスタマバーコード)

読み取り 禁止 (*)

読み取り 許可

チェックデジット転送 禁止

チェックデジット転送 許可 (*)

## Australian Post

読み取り　禁止 (*)

読み取り　許可

## BPO (British Post Office / BPO 4-State Code / RM4SCC )

読み取り　禁止 (*)

読み取り　許可

チェックデジット転送　禁止

チェックデジット転送　許可 (*)

## Canada Post (CPC 4-State Barcode / Post Bar)

読み取り　禁止 (*)

読み取り　許可

## Dutch Post (KIX 4-State Barcode)

読み取り　禁止 (*)

読み取り　許可

## Infomail (Infomail Barcode A)

読み取り　禁止 (*)

読み取り　許可

## Planet

読み取り　禁止 (*)

読み取り　許可

チェックデジット転送　禁止

チェックデジット転送　許可 (*)

## Postnet

読み取り　禁止 (*)

読み取り　許可

チェックデジット転送　禁止

チェックデジット転送　許可 (*)

## Sweden Post

読み取り　禁止 (*)

読み取り　許可

## マルチコードの読み取り

「禁止」の設定(出荷時の設定)はバーコードを 1 個ずつ読み取る通常の動作です。

「許可」と「許可 - 排他」の設定は、スキャナの視界に入った”**マルチコード（複数のバーコード）**”を一括で読み取ります。

禁止 (*)

許可

許可 - 排他(同一バーコードタイプ読取禁止)

「許可」について：

- データはスキャナの視界に入った順番で転送します。すべてのバーコードをマルチコードとして認識するので、1 個のバーコードを読み取らなくなります。
- 別途、バーコードの条件（バーコードタイプ、桁数、キャラクタ） を設定することで、データを希望する順番で転送することができます。
- 条件を設定すると、条件外の同一のコードタイプの 1 個のバーコードを読み取ることができます。

「許可 - 排他」について：

- 別途、バーコードの条件（バーコードタイプ、桁数、キャラクタ） を設定することで、データを希望する順番で転送することができます。
- 設定した条件外でも同一のバーコードタイプを読み取らなくなります。

（例）条件にバーコードタイプ Code39、桁数を 5 桁と 10 桁と設定すると、一括読み取り時は 5 桁と 10 桁の順番でデータを転送します。「許可」を設定すると 5 桁と 10 桁以外の桁数の 1 個の Code39 は読み取りできます。「許可 - 排他」を設定すると 5 桁と 10 桁以外の桁数の 1 個の Code39 は読み取りできません。

**メモ**

条件は設定ソフトでバーコードメニューを作成する必要があります。

## マルチコードの数

　マルチコードの読み取りを「許可」または「許可 - 排他」に設定した場合に、一括で読み取るバーコードの数の設定です。設定の範囲は最小 2 個(初期値)から最大 8 個までです。別途、条件

メモ

　バーコードの寸法によりますが、静止したスキャナの視界に一度に入るバーコードの数は 2～3 個です。4 個以上の場合はトリガーを押しながら、スキャナを動かしてバーコードを 1 個ずつ照射して読み取って下さい。

2 (*)

3

4

5

6

7

8

マルチコードの設定

## マルチコードのセパレータ

　マルチコードの読み取りで転送した、複数のバーコードデータの間のキャラクタを設定します。

<> (*)

，　コンマ

Tab (HT)

Enter(CR)

スペース

なし

**メモ**

　たとえば 2 個のバーコードデータ「123456」と「ABCDEF」をマルチコードとして一括で読み取ると「123456<>ABCDEF」と転送します。<>を他のキャラクタに変更したい場合に、上記のメニューで設定して下さい。また、設定ソフトで任意の文字に設定するメニューを作成することもできます。

マルチコードの設定

## 不完全なデータ転送

「許可」を設定すると、すべての数のマルチコードを認識していなくてもデータを送信します。なお、データ送信時にセパレータも送信します。

禁止 (*)

許可

## 不完全なデータ転送のタイムアウト

「不完全なデータ転送」を許可に設定したときの、すべてのマルチコードを認識するまでの待ち時間の設定です。初期値は 0msec(ミリ秒)です。

0msec (*)

500msec

1000msec

1500msec

2000msec

メモ

シンボル ID(p25)で「USDI の転送を許可」を設定すると、マルチコードの読み取り時は次の文字を先頭に転送します。

・UDM0･･･完全なデータ転送をしたとき(すべてのバーコードを読み取った時)

・UDM1･･･不完全なデータ転送をしたとき(一部のバーコードしか読み取らなかった時)

# マルチコードの設定例

## 書籍の 2 段バーコードの読み取り

次のメニューを読み取って設定すると、書籍の 2 段バーコード(JAN13　1 段目の先頭が 97、2 段目の先頭が 19)を一括で読み取ります。また、1 個の JAN13(先頭が 45、49 など)も読み取ります。セパレータは<>です。セパレータを変更したい場合は「マルチコードのセパレータ」(p65)で設定して下さい。

(注)先頭が 97 または 19 の 1 個の JAN13 は読み取らなくなります。

設定内容

マルチコード　許可･･･単一の JAN13 も読み取る

マルチコードの数･･･2 個

バーコード 1･･･バーコードタイプ「EAN13(JAN13)」、マスク「97???????????」

バーコード 2･･･バーコードタイプ「EAN13(JAN13)」、マスク「19???????????」

セパレータ･･･<>(初期設定)

## マルチコードの例

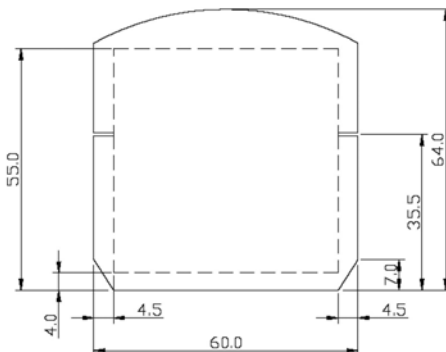
書籍の 2 段バーコード

9781234567897

1921234567895

# 第9章　カバーディスプレイ

本体の上側にある黒カバーを付属品の透明カバーに交換することができます。メッセージ用紙を透明カバーの間に差し込めば、宣伝や案内などに活用していただけます。メッセージ用紙は薄い紙で作成して下さい。

## メッセージ用紙の寸法

## カバーの交換方法　【注意】カバーを外すと、とがった部分があります。

| | |
|---|---|
| ステップ 1:<br>ゴムカバーの上側を矢印の方向に引っ張って本体からずらす。 | |
| ステップ 2:<br>ゴムカバーを引っ張って外す。<br>注意　カバーを外すと、とがった部分があります。けがしないように注意してください。 | |
| ステップ 3:<br>黒カバーの引っかかり部分を内側から押し上げて外す。 | |

| | |
|---|---|
| ステップ 4:<br>もう一方の黒カバーの引っかかり部分を内側から押し上げて外す。 |  |
| ステップ 5:<br>透明カバーの引っかかり部分を押し込んで入れる。 |  |
| ステップ 6:<br>もう一方の透明カバーの引っかかり部分を押し込んで入れる。 |  |
| ステップ 7:<br>メッセージ用紙を差し込む。 |  |
| ステップ 8:<br>ゴムカバーを矢印の方向に差し込んで取り付ける。 |  |

## サンプルバーコード 1 次元バーコード

(注)印刷環境によって読み取りできない場合があります。

Codabar (NW7)　（出荷時は読み取り禁止）

Code 39

Code 128

GS1-128

# サンプルバーコード 1 次元バーコード(続き)

(注)印刷環境によって読み取りできない場合があります。

UPC-A

UPC-E

JAN-13(EAN-13)

JAN-8(EAN-8)

Interleaved 2 of 5 (ITF)　（出荷時は読み取り禁止）

## サンプルバーコード 1 次元バーコード(続き)

(注)印刷環境によって読み取りできない場合があります。

GS1 Databar Omni directional　（出荷時は読み取り禁止）

(01)01001234567894

GS1 Databar Limited　（出荷時は読み取り禁止）

(01)04912345678904

GS1 Databar Expanded　（出荷時は読み取り禁止）

(01)04512345678906(17)100131

GS1 Databar Limited Composite (CC-A)　（出荷時は読み取り禁止）

(17)101201(30)3A558

(01)04912345678942

※このシンボルを読み取るには GS1 Databar Limited の読み取りを許可、GS1 Composite CC-A/B の読み取りを許可に設定して下さい。

## サンプルバーコード 2 次元バーコード / 郵便コード

(注)印刷環境によって読み取りできない場合があります。

QR　code　モデル 2　（出荷時は読み取り禁止）

データ：QR code model 2

Data Matrix (ECC200)

データ：Data Matrix ECC200

PDF417

データ：PDF417 sample code

Japan Post (郵便カスタマバーコード)　（出荷時は読み取り禁止）

データ：23000514-36-1

# 第 11 章　保証と修理

■保証について

本製品には保証書が添付されておりません。ただし、本製品に表示している製造番号（シリアルナンバー、S/N）によって保証期間を管理し、保証規定に基づく保証対象製品としております。

■保証規定

保証規定はお客様が購入された本製品について、修理などに関する保証の条件等を規定するものです。

■保証期間

お買い上げ日から 10 ヶ月間

■無償保証

製品が正常な使用状態のもとで故障した場合、保証期間内に当社に対し修理を依頼することにより、無償保証の適用を受けることができます。但し、保証期間内であっても次に掲げる場合は無償保証の適用を受けることができません。

1. 修理依頼時に、修理依頼書をご提示いただけない場合。
2. 使用上の誤り（落下による衝撃など）によって故障及び損傷が発生した場合。
3. お客様が製品を改造、分解、修理された場合。
4. お客様が、当社が指定するもの以外の機器と接続したことによって故障または破損した場合。
5. お客様による運送または移動の際に、落下または衝撃によって故障または破損した場合。
6. 火災、地震、風水害、落雷およびそのほかの天災地変、または異常電圧などの外部的要因によって故障または破損した場合。
7. 消耗品(ケーブル、電池)は無償保証の対象外のため有償交換となります。
8. 以上に掲げる場合のほか、故障の原因がお客様の使用方法にあると認められた場合。

■保証範囲

・保証規定は、製品についてのみ無償修理をお約束するもので、製品の故障またはお取り扱い上の注意に反する使用により発生した損害、損失については、弊社は一切補償いたしません。
・修理または交換にかかる付帯費用（運送費など）は一切補償いたしません。
・保証規定は、日本国内においてのみ有効です。

●修理について

故障と思われる症状が発生した場合は、説明書などをお読みいただき、正しい設定・接続ができているかをご確認ください。

症状が改善されない場合は、弊社ホームページ掲載の「修理依頼書」を印刷の上、修理依頼書に必要事項をご記入いただき、製品に添付して指定の宛先まで現品をお送りください。

修理依頼品の発送送料はお客様のご負担とさせていただきますのでご了承ください。

●修理依頼・製品の送付先について

代理店、販売店からお買い上げになった場合は、まず代理店などにご相談ください。

●修理依頼書の入手先

弊社ホームページからダウンロードしてください。

## お問い合わせ先

製品についてご不明な点がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

株式会社エイポック

ホームページ　http://www.a-poc.co.jp/

メール　info_mail@a-poc.co.jp

電話　045-508-5201　　FAX　045-508-5202